

# ◎福田コース

福田漁港(展望公園)⇒しらす販売⇒白山神社⇒元島遺跡⇒ドルチェ倉庫⇒天龍社⇒観音寺⇒三番組秋葉常夜燈⇒塩新田秋葉燈⇒コーデロイハウス⇒はまぼう公園



## ①福田漁港

福田漁港は遠州灘の御前崎と浜名湖のほぼ中間に位置している。その歴史は古く、宝永年間に当時の横須賀藩が、宝永地震(宝永4年(1707年))により隆起して機能を失った横須賀湊(みなと)に代えて太田川河口に築港を行い横須賀藩港としたのが始まりである。



## ③白山神社

御正体は、熊野本宮の本地仏である阿弥陀如来が浮き彫りにされています。白山神社の例祭は、毎年十月二日に行われていたが、平日に重なりと人出不足が生じるため、十月第一日曜日に変更しています。通称「白酒(どぶろく)祭り」。この例祭は、磐田市指定無形民俗文化財となっています。



## ②しらす販売

現在全国でもトップクラスの漁獲高を誇る福田のシラス漁は、昭和10年(1935年)頃まで地曳網が主流であった。沖での2ハイ曳きをはじめたのは昭和13年頃からで、捕れたシラスは生食でも美味だが、釜揚げ後に天日乾燥したシラス煮干の人気の高い。福田港周辺にはシラス煮干の加工工場がたくさん見られる。



## ④元島遺跡

昭和35年(1960年)に発見された弥生時代～戦国時代後期の集落跡です。慶長年間(1596～1615年)に伊奈備前守忠次が行った諸井川と太田川を和口村の東(二瀬)で合流させ海に向かって真直ぐに流す河川改修工事のため、本島に住んでいた人々は現在の豊浜にある大島と小島への移転を余儀なくされました。出土品は室町時代の木製の碇、丸木舟、陶磁器、かまど、井戸、住居の柱などです。



## ⑧三番組秋葉山常夜燈

◎市指定文化財  
福田地区には常夜灯が18か所現存している。これは、明治初期のものである。月1度の秋葉講も年4回になり、現在では年の初めに火伏せの神に新しい年の最初の灯明を灯し、皆で村の平穏を祈り、その年の決め事をして会食をする初燈に簡略化されている。



## ⑩コーデロイハウス

昭和38年(1963年)、県繊維工業試験場として設立。平成5年(1993年)、旧福田町に移譲された。現在別珍・コール天の情報発信拠点として、別珍・コール天の歴史、生産工程の解説、剪毛機や織機を展示しているほか、手織り、ハンカチ染め、手芸教室等の体験教室も開いている。(要予約)



## ⑨塩新田秋葉燈

大正12年(1923年)9月1日の関東大震災のあり、交通がマヒした東京へ福田港からかつお船で救援物資を運んだ。東京の親戚の身を心配した人たちがこの船を利用して上京したという。この灯籠は、関東大震災の教訓を忘れないようにと建てられたものであり、裏には「大正十二年癸亥九月」と刻まれている。



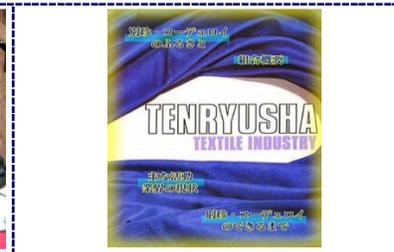
## ⑪はまぼう公園

水門の建設により153本の内119本がその犠牲となり、その一部ははまぼう公園に移植された。一方、有志の手によって種から育てられた苗が大きく育ち、西橋と東橋の間で花を咲かせている。防潮樋門堤の両岸は国内では類をみない自然の群生地となっている。現在ハマボウは、はまぼう公園および防潮堤と中島橋の間で観察することができる



## ⑤ドルチェ倉庫

DOLCE倉庫は、終戦時に国有綿保管倉庫として使われていた織布工場倉庫(昭和50年(1975年)代に閉鎖された木造の倉庫)を、初代福田音楽愛好会「アンダンテ」会長の故寺田昭子さんが音楽ホールとしての利用を思い立ち、平成9年(1997年)4月に改装したミニ音楽ホールである。



## ⑥天龍社織物工業協同組合

天龍社産地は、静岡県の旧福田町を中心とする三市一郡(磐田市・掛川市・袋井市・周智郡)の織物製造業者で構成されており、国内唯一の別珍・コーデロイの生産地(国内生産シェア95%以上)として特色ある産地を形成しています。別珍・コーデロイの他にも、綿、麻、ウール等の天然繊維織物やドビー・ジャガード織物が生産されており、用途もファッションからインテリアまで多岐にわたっています。



## ⑦内通山 観音寺

永禄2年(1559)5月2日、戸羽野村松秀寺の5世松山門鶴和尚を請じ草創開山とする。文禄3年(1594)正月21日、初住として玉傳宗眠和尚を拝請したところ、村人は皆宗眠の徳化に帰依して伽藍堂宇を造営した。慶長6年(1601)2月14日伊奈備前守忠次から黒印2石目を拝領し、宝永2年このうち8斗目を慶昌寺に分授した。安政元年、地震で伽藍ごとごとく破損し、後に庫裏一宇及び観音堂を再建した。

## ★福田地区の特産品①★



## 生シラスとシラスの釜揚げ

シラス漁が盛んな福田漁港。生シラスは、ホカホカご飯と一緒に、ショウガ醤油で食べるのが最高です。

## ★福田地区の特産品②★



## ソルブレベコ

福田で開発された新しいテキスタイルのブランド名ソルブレベコは、ソル(sol=太陽)ブレ(bre=そよ風)ベコ(コーデロイの愛称)の合成語。厚くて重いコーデロイ、別珍のイメージを一押し、軽くて透明感のあるもの、様々な模様を浮かび上がらせたもの等、バリエーションは10シリーズ47種に上るが、その可能性は無限である